



# ありが隊新聞



天龍村地域おこし協力隊は「あっぱれ！天龍村の方にいつも協力して頂き有り難い」と2014年より「あっぱれ！天龍村ありが隊」となっています。



加藤真由美



望月ひとみ



於保樹

令和6年7月  
第135号  
編集:加藤真由美



天龍村にて活動をさせて頂くきっかけになったPR動画の公演が7月7日七夕に実現いたしました。  
当日はかなり暑い日にもかかわらず、村内及び村外の方（80名程）合わせて220名の方にご来場いただき、およそ2時間ほどの邦楽と舞の公演で「おきよめの神の物語」の世界を感じて頂けたと思います。多くのご来場ありがとうございました。公演内での曲や物語はケーブルテレビの天龍チャンネル（122チャンネル）にて夜7時から放映されてるのでまた改めて見て頂けると嬉しいです。もしくはYouTube配信もされるのでご覧ください。  
ご来場いただいた方へは「おきよめの神の物語」の絵本も配布させて頂きました。今回、来場いただけなかった方で欲しい方は私（090・3321・0823）までご連絡ください。お分けできると思います。  
これからも動画・絵本・公演などを通じて天龍村のPRや自然の大事さを伝える活動をさせて頂きます。

## ◇「おきよめの神の物語」公演

ありがとうございました。

天龍村に来て3年が経ちました。協力隊制度の任期は最長3年ですが、コロナ禍での採用だったため、特例措置として延長できるとの事でもう少し天龍村での活動をさせていただくことになりました。もうちょっと、ありが隊としてお世話になりますのでよろしくお願い致します。

加藤まゆみ

「おきよめの神の物語」  
YouTube絵本朗読



「おきよめの神の物語」  
YouTubeイメージ映像



公演最後に演者と来場者みんなで記念撮影

ブッポウソウが巣立ちの時を迎えました。撮影や観察に訪れた方が「ブッポウソウてぬぐい」をご購入くださり、残りわずかとなりました。販売していただいた自慶院盛様、観光協会様、ほか各商店・団体様、ありがとうございます。今後も、多くの方に手に取っていただき、天龍村に愛着を持っていただけるような商品企画・販売していけたらと思います。

●ていざなす・十久保南蛮栽培  
7月中旬、各生産者組合で栽培講習会が開催されました。



「農業は毎年一年生」とは、ていざなすの畑のとなりでみやましい畑をやっているらしいや大先輩の一言ですが、農業はこれだという正解はなく、どこを・何を指すかでやり方は全く変わります。虫、鳥、山や川、土がどうあれば人もともにすやかに生きられるか。大命題で難しいことですが、天龍村は人本位でない地域であってほしいと願います。

●南信州伝統野菜協議会  
天龍村や南信州地域で農に関わりながら暮らす、若い世代の定住者を増やしたいと思い活動していますが、その一つに伝統野菜協議会の活動があります。



先日は下伊那農業高校で実習があり、志げ子なす組合、清内路伝統野菜保存会の方と九月に開催する「南信州ファーマーズマーケット」で使用するチラシの作成や栽培管理作業をしました。地元の作物に関心をもつきっかけとなる授業であり、今後どんな高校や中学校でも実施していくべきと感じました。



ご協力  
お願いします!

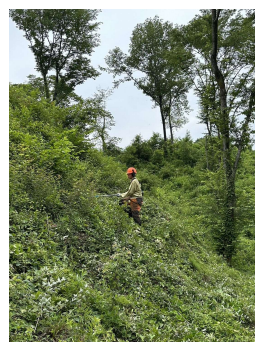


LINEの天龍村  
スタンプが  
出来ました

## 於保樹の活動報告

### 林業

6月末〜7月中旬にかけて下草刈りの仕事をさせて頂きました。もちろん初めての作業ではあるが、ナラを残すこと・慣れない現場であるため、普段の草刈りとは全く別物で精神的・身体的に疲れました。ただ、作業していくうちに体も慣れてきて、作業が進むと現場も奇麗になり達成感があり、非常に楽しかったです。また、刃の研ぎ方、草刈り機の使い方、作業の進め方や足の運び方など多くを学ぶことができました。これから、もっと練習して経験値を増やしていきたいと思います。



下草刈り

### 地域交流×農業

6月末に、東京・愛知などから足を運んで頂き、1月のお潔め祭りの練習とエゴマ植えを行いました。地区の方に協力頂き、お潔め祭りの練習を日付をまたぐ時間まで十分に行うことができました。また、エゴマを植えることができ一安心です。

7月下旬にはお盆の掛け踊りの練習を行います。本番も人数を揃えて実施できたら嬉しいです。



エゴマ植え



お潔め祭り練習